



ユネスコスクール便り

令和2年9月25日

No.95

大牟田市I社コスクール
担当者通信

つながりを大切にし、
かかわりを深める児童生徒の育成

学習指導要領と本市のESD

前回の学習指導要領改訂(平成20年)の小学校・中学校の学習指導要領には、総則や教科等の目標及び内容に、持続可能な社会の構築の観点が盛り込まれました。大牟田市の小・中・特別支援学校においては、学校の特色や地域のひと、もの、ことを生かし、各教科や総合的な時間の学習等を関連付けたESDの教科等横断的なカリキュラムを編成、実施し、持続可能な社会の担い手を育ててきました。



そして、令和2年度から小学校で全面実施され、令和3年度からは中学校で全面実施となる新学習指導要領では、これからの学校には、子ども達が持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められるとし、「社会に開かれた教育課程」を通してその資質・能力の育成を図ることとしています。現在、本市の小・中・特別支援学校では、SDGsを目指し、社会・世界とのつながり、かかわりを大切に子ども達が自ら問題を捉え、解決に向けて力を合わせるようESDを推進しています。大牟田は、学習指導要領の理念や改訂の趣旨に合致する教育を先駆的に実践してきたと言えます。予測困難な事が次々と起こっている今、このような教育はますます重要な意味をもちます。新学習指導要領の下、ESDの一層の充実を図っていきましょう。

ユネスコスクール・SDGs/ESD 実践交流会 が開催されます!

例年、夏季休業中に開催されていた「ユネスコスクール・SDGs/ESD 実践交流会」が、今年度は10月31日(土)に開催されます。関係の皆様のご尽力により、オンラインを用いながらの開催となります。毎年充実した内容となっておりますが、今年度は参加人数が制限されています。代表して参加される先生方は、学校に戻られてから先生方に内容を伝え、研修会での学びを広げていただきますようお願いいたします。

特色ある実践事例の紹介

愛のサイクル 明光学園中学校・高等学校

明光学園はiサイクル活動に協力しています。iサイクル活動とは「i(私)が始めるリサイクルで、人と環境にi(愛)を循環(サイクル)させるための活動」です。普段は「ゴミ」になるペットボトルキャップを、再資源として有効活用するために収集し、植物プランターに加工する業者に買い取ってもらい、その売却益によりアジア途上国における子どもたちへのビタミン・ミルク支援や治療費支援を行っています。iサイクル活動の中でも、本校では、ペットボトルキャップの回収、洗浄、色分けの作業をしています。近隣の小中学校や病院からもキャップを持ち込んでいただき、一緒にキャップの仕分け作業を行うなど、地域と協働で取り組んでいます。このiサイクル活動により、プラスチックを再利用することで、貧困国の子どもたちのためにもなり、現在問題となっているごみも減らすことができます。この愛の心を循環させながら、人と自然を大切に、地域とともに持続可能なまちづくりに貢献しています。



地域の方と作業する生徒

福祉の大切さ ～車いすバスケットボール体験を通して～

田隈中学校

田隈中学校はSDGs3の視点から、1年生では福祉学習「車いすバスケットボール体験」に取り組みました。まず、生徒達は桜花台クラブ車いすバスケットボールチームの方に、車いすでの生活の中で体験したことについて話を聞きました。また、福祉に関するDVDを視聴し、福祉に対する考えを深めました。そして、車いすバスケットボールを体験し、思うように動くことができない大変さを体感しました。生徒は、「何気なく通っている道でも、車いすに乗っている人は段差などで通れなくなっているかもしれない」と、生活の中でも違う視点に立って考える必要があることに気づき、思いやりをもって行動していきたいと気持ちを高めていました。



車いすバスケットボールを体験する生徒たち